

「足尾銅山電話資料館」 「旧足尾銅山鉱業事務所付属書庫」 「旧本山小学校講堂」の国有形文化財登録について

国の文化審議会が平成 28 年 7 月 15 日（金）に開催され、日光市内に所在する下記の建造物（3 棟）を新たに登録有形文化財に登録することを文部科学大臣に答申しました。

登録建造物概要

①名称「足尾銅山電話資料館」

所在地 栃木県日光市足尾町 2 2 8 1 番地

登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの

建築時期 昭和 26 年

特徴

木造平屋建て、モルタル塗の外壁に縦長窓を並べ、寄棟造りの屋根を架けた文化住宅を思わせる外観。

足尾銅山には明治 19 年に電話が架設され、国内では民間初の施設を結ぶ電話であった。



②「旧足尾銅山鉱業事務所付属書庫」

所在地 栃木県日光市足尾町 2 2 8 1 番地

登録基準 造形の規範となっているもの

建築時期 明治 40 年

特徴

煉瓦造 2 階建て、煉瓦をイギリス積みの手法で積み上げた外壁の四隅に白い石材を帯状に配した付柱を設け、両側面と正面中央には妻壁を立ち上げて重厚な外観を持つ。



③「旧本山小学校講堂」

所在地 栃木県日光市足尾町上間藤 1 6 - 1

登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの

建築時期 昭和 15 年

特徴

切妻造平屋建て、正側面には縦長の窓を並べ、その間には木製バットレスを付け、妻壁は木骨を意匠的に配したハーフティンバー風の造り。

当初は銅山職員の子弟のみを対象としていたが後に公立となる。古河私立学校の現存する唯一の遺構で足尾銅山の歴史を伝える遺構でもある。

